会報 創刊号

2014 May

東京都市大学 校友会
TOKYO CITY UNIVERSITY

巻頭言

新しい校友会に参加しよう！

東京都市大学 校友会　会長
松下　正勝
（S40土木）

校友会会員の皆様にはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

母校では平成21年から東京都市大学と校名変更し、昨年9月より中村英夫学長から北澤宏一新学長に交代し、新体制をスタートしました。

同窓会については昨年4月に武蔵工業会と美砂会が合併し「東京都市大学 校友会」に一本化しました。この度、校友会報創刊号を発行することになりました。

顧みますと、武蔵工業会は昭和5年の学友会から今年で84年、美砂会は昭和33年から56年を経過いたしました。今年3月末日を以って各々の同窓会役員と大学事務局立ち会いのもと、各々の資産を校友会に完全移管いたしました。

ところで美砂会の皆様には初めてですので、不肖、私の略歴を紹介いたします。

私は品川区に生まれ、小学校・中学校・高校と地元に学び、昭和40年に武蔵工業大学土木工学科を卒業し、建設会社に入社して、平成17年副社長を退任し、関連会社の会長を2年間、専門会社の特別顧問を5年半歴任し、平成24年12月に70歳を契機に48年間の会社勤務を卒業しました。学生時代はバスケット部に所属していました。

一つ年上の先輩には女優 日色ともゑさん（東横学園高等学校出身）のご主人 中園正樹氏（株式会社 松田平田設計社長）がいました。一緒に合宿したり、リーグ戦やトーナメントの試合を楽しみました。社会人になってからも、仕事で中園先輩には大変お世話になりました。

一方、同窓会関連では、土木工学科のOB会「緑土会」の会長を平成18年から中部先輩から引継いで6年間奉職し、並行して武蔵工業会の理事・常務理事・副理事長を兼務して、平成24年に第18代理事長に就任し、平成25年から校友会会長となりました。

現在、校友会会員は在籍者約9.1万人、住所判明者6.2万人で、新たに平成25年1,667名、平成26年に1,611名が東京都市大学卒業生として正会員に加わりました。全国に42の地方支部、26の職場支部、2つの海外支部があり、皆様をお待ちしています。

今後、校友会として建学の精神「公正・自由・自治」を継承し、校友会の目的の①母校および学生への支援（研究助成金・奨学金等の給付）②校友会会員相互の親睦（総会・ホームカミングデー・ゴルフ大会等）③各学科同窓会および地方支部への支援の3つを重点目標に、校友会活動を皆様と共に明るく楽しく透明性を以って運営して行きます。皆様のご支援とご協力を宣敷くお願いいたします。

また、校友会が発足してから昨年の9月28日（土）には第1回総会、10月26日（土）には九州・沖縄地区支部長会議、11月24日（日）にはホームカミングディを開催し、多くの会員の参加を得て盛会に催すことができました。

今後もクラス仲間・同期会仲間をお誘いの上、多くの会員の方が各種行事にご参加頂きます様、お願いいたします。

新しい「校友会」を旧武蔵工業会と美砂会会員が両輪となって動かし、新しい道を切り開いて新しい歴史を刻むことを期待しております。

皆様のご健康とご多幸をお祈りし、創刊号の挨拶といたします。

前 独立行政法人 科学技術振興機構理事長
東京大学名誉教授
福島原発事故独立検証委員会（民間事故調）
委員長

1980年代後半に起こった高温超伝導フィーバーの火付け役として知られる。

東京都市大学　学長
東京都市大学 校友会　顧問
北澤　宏一

第2次大戦による大きな喪失から立ち直り、1980年まで「東洋の奇跡」と呼ばれる成長を遂げた日本は、「ハイテクと高信頼性」の国としての地歩を固めました。そして、「日本とのビジネス」は失敗がない、という世界の信頼を得てきました。アジアの多くの国々で「日本に学べ」運動が起きました。その後、大西洋を越える貿易が中心であった時代から、80年代には太平洋貿易が中心となる時代へ、さらに21世紀に入るころには東アジア域内が世界最大の貿易圏となる時代へと移ってきました。

一方、現在、世界人口の大都会への集中が進みつつあり、すでに65%以上が大都市に住む時代となり、都市の貧困、衛生、交通、教育、犯罪などの問題がこれからの大きな課題として浮かび上がってきています。日本はバブル崩壊後しばらくの閉塞期間を経験しましたが、これから「復活」の時代を迎えるはずですし、そうせねばなりません。

東京都市大学は、2013年の統計で世界最大3340万人の人口を有する東京・横浜都市的地域（urban area）の中心に存在します。既に300年も前の江戸時代に、江戸は世界最大の都市の一つに成長していました。有史以来、世界の諸都市は外敵からの攻撃、ペストなどの疫病、飢饉、失業と貧困にも悩まされ、その人口はあまり増えませんでした。歴史の長い海外諸都市に伍して江戸がメガシティに成長できた理由は、大都市の課題を世界に先駆けて解決してきたからです。

江戸は300年にわたる秩序ある平和を保ち、明治維新という革命期にあっても、「無血開城」という日本独自の形で街を灰燼に帰すことなく、その知見や文化とともに明治に伝えました。世界に先駆けた高いレベルの秩序維持、安全、衛生、庶民の教育と高い識字率、食糧自給を可能にする農地と市街地の計画的配置、基本的な自給自足体制などの要件を江戸が備えていたとされます。

現在の世界は都市化がさらに進み、先進国ではすでに70%、2050年には90%もの人口が都市に住むようになることが予想されています。これからの世界の課題はサステナビリティという包括的目標のもとに都市問題と地域との関わりに対する課題解決に集約されて行きます。東京都市大学は先進的に都市問題に取り組んで来た世界最大のメガシティ東京・横浜都市地域の中心にあって、このような問題を学問的に体系化し、その知見を国内、そして、全世界に発信していく義務があります。私たちはその理念を実現していきます。

本学は統合・名称変更後5年を経て、このような理念の下にさらに発展を目指した改革を続けます。最近完成した「東京都市大学アクションプラン2030」の具現化をいよいよ今年度から始めます。改革の骨子は教育の品質保証とグローバル化、キャンパス環境の向上、大学運営の充実、ガバナンスの確立等です。それぞれのアクションプランを具体的に作り上げます。

一方、世界でも経験したことのない大幅な少子高齢化が日本で進む中で私立大学には淘汰の波が押し寄せています。東京都市大学もその波の洗礼を受けることになります。これから待ったなしの改革を淘汰の海を乗り越えるために進めて行かねばなりません。スピードを重視しつつ改革を進めて行きたいと考えます。皆様からもアイディアを色々とお寄せいただけたらと思います。

2020年の東京オリンピックはこれからの本学の教育の当面の目標としても良いターゲットと考えます。それに間に合わせてこれからの学生たちを教育し、卒業生を送り出すことができます。私自身も、国際的なセンスとおもてなしの心を持った、訓練された学生たちが都市大から巣立っていってくれるよう努力したいと思います。校友会の方々には具体的に学生たちとの共同の活動についてもご協力をお願いしたいと思います。校友会の方々と学生たち、そして教職員を含めた活動を開始できればと考えます。各地での皆様の関わる企業での学生インターン、支部校友会員と学生による理科実験、ボランティアやこども読み聞かせなどの共同奉仕活動、各支部での大学と連携したシンポジウムの開催など、校友会の皆様にはいろいろと共同プロジェクトのご相談をもちかけたいと思いますが、よろしくお願い致します。また、皆様からも積極的なご提案を私宛president@tcu.ac.jpまで頂けますよう。

母校の発展と学生たちのためによろしくお願い致します。

東京都市大学 校友会について

はじめに

平成21年4月に、武蔵工業大学と東横学園女子短期大学が統合し、東京都市大学となって4年目の平成25年3月、東京都市大学が第一期生として卒業生を輩出するに当たり、これまで別々の活動をしてきた武蔵高等工科学校、武蔵工業専門学校、武蔵工業大学の同窓会である「武蔵工業会」と、東横学園女子短期大学の同窓会である「美砂会」は統合し、平成25年4月1日に新しい同窓会組織「東京都市大学　校友会」として発足しました。

会員構成

校友会の会員は、卒業生を正会員、在学生を準会員、教職員を特別会員とし、その他に賛助会員、名誉会員からなります。正会員、準会員の内訳は下表となります。

H26.4.15 現在

出身校 在籍校	正会員		準会員
		住所判明者	
武蔵工業大学	60,398	40,835	—
東横学園女子短期大学	27,387	18,259	—
東京都市大学	3,278	3,278	7,320
合計	91,063	62,372	7,320

組織

組織図を6ページに示します。会長の下の執行機関として「常任幹事会」が、決議機関として「幹事会」があります。幹事は各学科同窓会、地方・職場支部の正会員、そして特別会員から選出されます。各学科同窓会は幹事の選出母体ではありますが、校友会とは独立して運営されます。

会費

校友会は終身会費制です。平成21～25年度に東京都市大学に入学された方は4年次に終身会費を納入していただきます。平成26年度以降に入学される方は毎年度に分割して納入していただきます。美砂会も終身会費制でしたので、既に納入いただいた終身会費が有効です。武蔵工業会は、近年は年会費制としていましたが、既に納入いただいた入会金と初回年会費を終身会費として扱います。したがって、武蔵工業大学または東横学園女子短期大学を卒業された正会員の方々は、改めて終身会費を納入していただく必要はありません。

会報

本号が「会報」の創刊号ですが、次号からは新たな名称で発行します。“会報名称募集要項”（9ページ）をご覧ください。しかし、大量の送付数が校友会経費を圧迫しており、送料の削減が望まれます。本号も含めて「会報」の最新号とバックナンバーをホームページに掲載し、いつでも閲覧・ダウンロードできるようにしています。送付不要の方はその旨ご登録ください。また、メールアドレスを登録いただいた方には校友会からのお知らせを随時お送りします。

本号を含めて、「会報」は、住所が判明している全会員（送付不要の登録をされた会員を除く）にお送りしています。「会報」が届かない会員は、住所不明となっている会員です。住所及び住居表示変更の登録をお願いいたします。

ホームページ

校友会のホームページのURLは、http://www.tcu-alumni.jp/です。最新のニュース、行事予定、「会報」を掲載しています。また、会員登録フォームによって、住所などの変更、メールアドレス、会報送付の停止などの登録ができます。

会員情報の登録・変更

今までに「武蔵工業会」、「美砂会」に登録いただいている会員情報は、そのまま校友会に移管されました。そして校友会に登録されている会員情報に基づいて、「会報」、「メールニュース」を送付しています。メールアドレスの登録、住所変更などをお願いたします。また、“会報送付不要”の登録をしていただくと、会報の送付を停止して、経費をより有効に使わせていただくことができます。

本部・事務室

東京都市大学 校友会へのお問い合わせなどは、下記の本部・事務室にお願いいたします。

住所：158-8557　東京都世田谷区玉堤 1-28-1
東京都市大学内　1号館4階　北側エレベータ前
電話：03-3703-3862
ファックス：03-3703-4595
E-メール：koyukai@tcu.ac.jp
ホームページ：http://www.tcu-alumni.jp
職員：事務長　渡辺　健（S38経営）、小杉雅克、
　　渡辺直美、船越一恵

支部

ほぼ各都道府県に対応した地方支部が42、会社、グループ会社に対応した職場支部が26、海外支部が2あります（11～13ページ）。それぞれ総会、懇親会などを大学教職員、本部役員なども参加して開催しています。

各支部への連絡先、詳細などは本部・事務室へお問い合わせください。

発足式

平成25年6月22日（土）に渋谷エクセルホテル東急において東京都市大学　中村英夫学長、五島育英会　安達　功理事長、東京都市大学教職員のご参加を戴き、会員約210名が出席して「東京都市大学校友会」の発足式が執り行われました。

常任幹事の紹介

第１回　総会

平成25年9月28日（土）に東京都市大学世田谷キャンパス311教室において幹事会、その後に21C教室において会員154名が出席して総会を開催し、（1）校友会役員、（2）校友会会則・細則、（3）平成25年度事業計画、（4） 平成25年度収支予算の議題について審議し、以下の通り承認されました。なお、会則（5ページ）と細則の一部については次回の総会までに検討を加えることになりました。

（1）校友会役員　（任期：平成25年4月～平成28年3月）

役　職	氏　名	卒業年・学科	選出母体
会　長	松下　正勝	（S40土木）	
副会長	小林　菊恵	（S33家政）	
	吉田　　勝	（S43建築）	
幹　事	山田　弘道	（S43生機）	機親会
	九田　一久	（S46機械）	
	松村　慶一＊	（S49機械）	
	大上　　浩	（S56機械）	
	白木　尚人	（H03機械）	
	松井　康平	（H13機械）	
	熊谷　正芳	（H14機シ）	
	藤川　英司	（S40電気）	電友会
	後藤田栄司＊	（S44電気）	
	石田　　彌	（S45電気）	
	尾﨑　正明	（S54電気）	
	和多田雅哉	（S59電気）	
	鈴木　憲吏	（H17電気）	
	松下　正勝＊	（S40土木）	緑土会
	草柳　俊二	（S42土木）	
	中埜　　豊	（S44土木）	
	丸山　　收	（S58土木）	
	谷口　　敦	（S63土木）	
	吉田　　勝＊	（S43建築）	如学会
	斎藤　公彦	（S44建築）	
	山岡　嘉彌	（S46建築）	
	藤井　研一	（S57建築）	
	井手　　勤	（S59建築）	
	大島　弘之	（S40通信）	通友会
	鈴木　威一	（S41通信）	
	今井　章久＊	（S44通信）	
	原口　兼正	（S49通信）	
	竹内　真一	（S54通信）	
	海老沼利光	（S49経営）	経友会
	矢﨑　克実＊	（S54経営）	
	金子　正樹	（S55経営）	
	嶋矢　　剛	（H03経営）	

役　職	氏　名	卒業年・学科	選出母体
幹　事	薩川　宣昭	（H10経営）	経友会
	鹿糠　秀行	（H13電子情報）	情智会
	小宮山和弘	（H23生体医）	医工会
	本多　庸郎	（S51電気）	原子力友の会
	小竹　智仁	（H13エネルギー基礎）	源友会
	加藤　広樹	（H25自然科学）	さきがけ
	吉村　正伸＊	（H13環境情報）	楷の木会
	高橋　弘嗣＊	（H20環境情報）	
	鳥居　朗江	（H25都市生活）	等々力会
	小林　菊恵＊	（S33家政）	新美砂会
	川辺加代子＊	（S50国文）	
	早田　典子	（S47家政）	
	田﨑　博美	（S49国文）	
	服部　圭子	（S50家政）	
	加藤　祐子＊	（S53国文）	
	宇野美智子	（S54英文）	
	衣斐喜美子	（S55家政）	
	片田　敏行＊	（S50土木）	大学教職員
	湯本　雅恵	（S47電気）	
	神宮　進一＊		
	植村　俊子	（S52家政）	
	小山　純生		
	須藤　　惇	（S33通信）	北海道・東北地区
	岩間　義人	（S40土木）	関東・甲信越地区
	千野慎一郎	（S41建築）	中部地区
	関岡　眞人	（S41経営）	関西地区
	縫部　勝彌	（S43土木）	中国・四国地区
	東　　求	（S46土木）	九州・沖縄地区
	内海　貴志	（S55土木）	職場支部
	山中　広司	（S60経営）	
	望月　　宏	（S41生機）	
	百目鬼英雄	（S52電気）	
監査役	堀内　則量	（S41電気）	
	鈴木　照海		大学教職員

＊は常任幹事

（2）東京都市大学 校友会　会則

第1章　総　則

（名称）

第１条　本会は、東京都市大学校友会と称する。

（所在）

第２条　本会は、本部を東京都市大学（東京都世田谷区玉堤1－28－1）内に置く。

（目的）

第３条　本会は、会員の連絡統一を図り会員相互の親睦を厚くし、東京都市大学の発展に寄与することを目的とする。

（事業）

第４条　本会は、前条の目的を達成するため、次に掲げる事業を行う。

（１）会報の発行
（２）会員情報の管理運営
（３）会員の福利厚生に関する事業
（４）学術の振興等に関する事業
（５）大学との共同事業
（６）会員の顕彰
（７）本会支部活動への援助
（８）学生に対する支援
（９）その他本会の目的達成に必要と認められる事業

第2章　会　員　と　組　織

（会員の種類）

第５条　本会は、次の会員をもって組織する。

（１）正会員
　イ　東京都市大学、その前身校である武蔵工業大学、武蔵高等工科学校、武蔵工業専門学校及び東横学園女子短期大学（以下「母校」という）卒業生。
　ロ　母校に在学し退学した者で、本人が入会を希望し、常任幹事会の承認を経たうえ、所定の手続を完了した者。
（２）準会員
　東京都市大学の学生。
（３）特別会員
　東京都市大学の教職員。
（４）賛助会員
　本会の趣旨に賛同し、支援する者で常任幹事会の承認を経た者。
（５）名誉会員
　母校又は本会に功労があった者で常任幹事会の承認を経た者。

２　本会の運営組織は、東京都市大学校友会運営組織図に示す。

（資格喪失）

第６条　会員は次によりその資格を失う。

（１）会員が死亡した場合、又は失踪宣告した場合。
（２）退会届を提出した場合。
（３）本会の目的に反する行為があった場合。

第3章　役　員

（役員）

第７条　本会に、次の役員を置く。

（１）顧　　問　　１名
（２）会　　長　　１名
（３）副 会 長　　若干名
（４）常任幹事　　１３名
（５）幹　　事　　７０名以内
（６）監 査 役　　２名

（顧問）

第８条　顧問は、東京都市大学学長とし、会務について会長の諮問に助言を与える。

（会長）

第９条　会長は、幹事会において会員のうちから選任する。

２　会長は会務を総括し、本会を代表する。

（副会長）

第１０条　副会長は、幹事のうちから会長が推薦し、幹事会の承認を得るものとする。

２　副会長は会長を補佐し、会長事故あるときはその職務を代行する。

（常任幹事）

第１１条　常任幹事は、幹事会において幹事のうちから、次の区分により選任する。ただし、常任幹事の選任数には会長及び副会長の数を含めるものとする。

（１）世田谷キャンパスの学科同窓会より６名
（２）横浜キャンパスの学科同窓会より２名
（３）等々力キャンパスの学科同窓会及び東横学園女子短期大学同窓会（美砂会）より3名
（４）大学教職員２名

２　常任幹事は会長及び副会長を補佐し、会務の執行に当る。

（幹事）

第１２条 幹事は次の区分から選出する。

（１）各学科別同窓会、東横学園女子短期大学同窓会（美砂会）に所属して本会正会員の中から若干名
（２）北海道東北、関東甲信越、中部、関西、中国四国、九州沖縄地区の各代表支部長１名
（３）関東に本部組織の有る職場支部の支部長のうちから３名程度
（４）大学教職員２名程度

２　幹事は、常任幹事を補佐し、一般会務を分担処理するほか、選出母体との連絡に当る。

（監査役）

第１３条　監査役は、次により推薦し、総会の承認を得るものとする。

（１）幹事会において幹事及び常任幹事以外の正会員から１名
（２）大学教職員より１名

２　監査役は、本会の会務を監査する。

（役員の任期）

第１４条　役員（顧問を除く）の任期は３年とする。ただし、再任を妨げない。

２　役員に欠員を生じた場合の補欠者の任期は、前任者の残任期間とする。

３　役員はその任期満了の後でも、後任者が選任されるまでは、その職務を行う。

（役員の解任）

第１５条　役員が心身等の事由により職務の執行に耐えられない場合、又は職務違反その他役員に相応しくないと認められた場合、幹事会に諮り解任することができる。

第4章　委員会

（委員会の設置）

第１６条　本会の事業を執行するため、幹事会の承認を経て委員会を設置することができる。

２　委員会については別に定める。

第5章　支　部

（支部の設置）

第１７条　本会の業務遂行のため、幹事会の承認を経て地区又は職場単位に支部を設置することができる。

（支部役員）

第１８条　各支部ごとに当該支部会員の中から支部長１名、支部幹事若干名を選出する。

（支部の運営）

第１９条　支部の運営は、別に定める。

第6章　事　務

（事務室）

第２０条　本部に事務室を置き、事務室の運営は東京都市大学事務局に委託する。

第7章　会　議

（会議の種類）

第２１条　本会の会議は、総会、幹事会、常任幹事会及び支部長会の４種とする。

２　前項の会議は、会長が招集し、その議長となる。

（総会）

第２２条　定期総会は毎年１回春季にこれを開き、臨時総会は幹事会が必要と認めたときこれを開く。
２　総会には、事業計画、事業報告、収支予算及び収支決算ならびに幹事会において必要と認めた事項を提出しその承認を受けるものとする。
３　総会の議事は、出席正会員の過半数をもって決する。
（幹事会）
第２３条　幹事会は、幹事の過半数又は会長が必要と認めた場合これを開く。
２　幹事会は、次の事項を決議する。
（１）本会会則の改正
（２）総会提案事項
（３）事業計画及び報告
（４）収支予算及び決算
（５）繰越残預金等の使途に関する事項
（６）資産の管理処分に関する事項
（７）学校法人五島育英会評議員候補者の選出
（８）その他重要事項
３　幹事会は、幹事の過半数の出席により成立し、議事は出席幹事の３分の２以上により決する。
４　会長は必要と認めたとき、幹事以外の者を出席させることが出来る。
（常任幹事会）
第２４条　常任幹事会は、常任幹事の過半数または会長が必要と認めた場合これを開く。
２　常任幹事会は、次の事項を審議する。
（１）本会会則の改正
（２）幹事会提案事項
（３）学術の振興等に関する事項
（４）表彰に関する事項
（５）支部に関する事項
（６）会報の編集方針に関する事項
（７）会員情報の管理運営に関する事項
（８）会員の福利厚生に関する事項
（９）その他業務運営に関する事項
３　常任幹事会は、常任幹事の３分の２以上の出席により成立し、議事は出席常任幹事の３分の２以上により決する。
４　会長は必要と認めたとき時常任幹事以外の者を出席させることが出来る。
（支部長会）
第２５条　支部長会は支部長の過半数又は会長が必要と認めた場合これを開く。
２　支部長会は、次の事項を審議する。
（１）第１２条に関する地区・職場支部の幹事の選出。
（２）支部より常任幹事会への提案事項。
（３）その他業務運営に関する事項

第８章　会　計

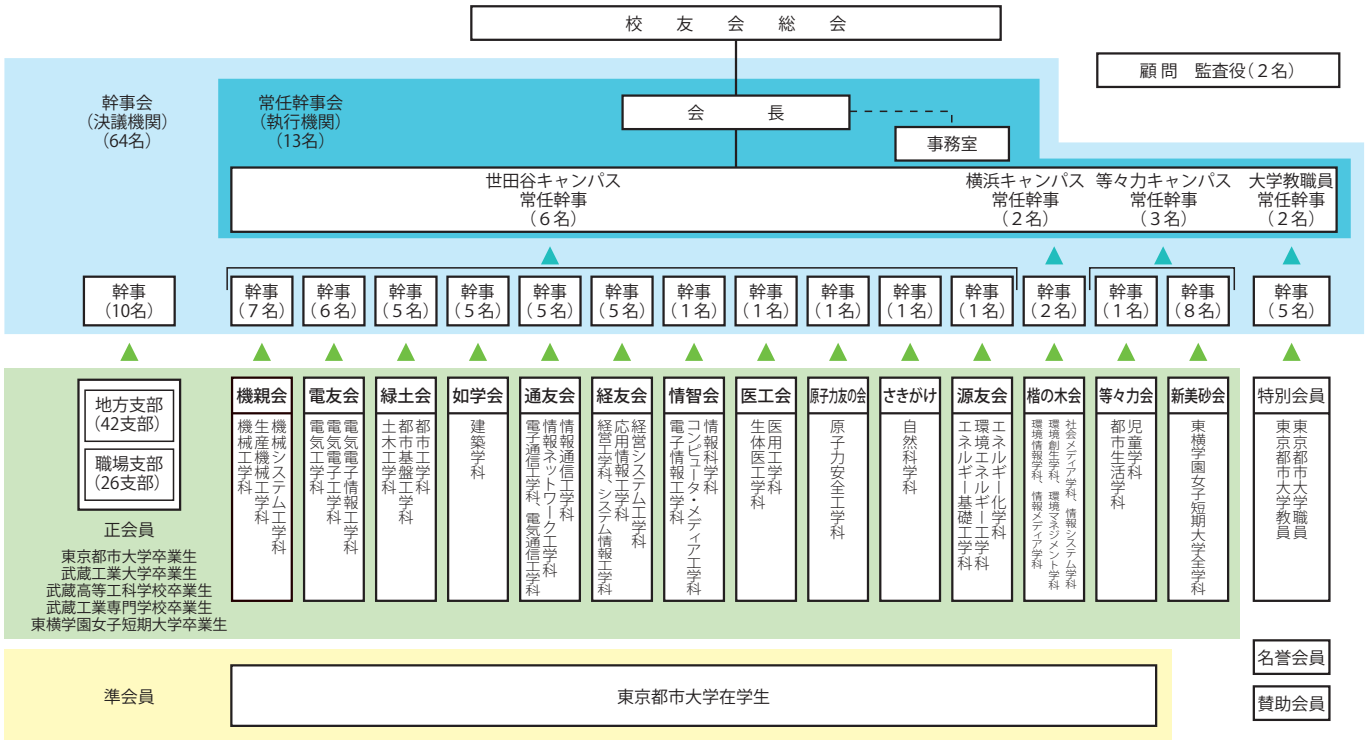
（会計年度）
第２６条　本会の会計年度は、４月１日に始まり翌年３月３１日に終る。
（会費）
第２７条　正会員及び準会員は、終身会費を納入するものとする。
（運営経費）
第２８条　本会の経費は、会費、預金利子及び寄付金等をもってこれに充てる。

第９章　補　則

（改廃）
第２９条　この会則の改正は、総会の承認を経なければならない。
（細則）
第３０条　この会則施行について必要な細則は、別に定める。

付則（平成２５年３月１３日）
この会則は、東京都市大学校友会発足準備会の議決により制定、武蔵工業会及び美砂会の承認を経て、平成２５年３月１３日から適用し、平成２５年４月１日から施行する。なお、幹事会が発足するまでの間、東京都市大学校友会発足準備会が、その役割を担うものとする。

東京都市大学　校友会組織図



（3）平成25年度 事業計画

1. 会報の発行を準備する
   ・会報の名称検討委員会の立ち上げ、名称の決定
2. 幹事会、常任幹事会の開催
   ・事業計画（案）と予算（案）の議決
3. 総会の開催
   ・校友会の事業計画と予算の承認
4. 会員名簿の作成、管理
   ・会員名簿の統合・整理
   ・キャンパス毎の管理用会員名簿の作成
5. 会員相互の親睦・交流
   ・賀詞交歓会
   ・親睦行事
   　親睦ゴルフ大会、鑑賞会（相撲、演奏会、落語、ミュージカル等）
6. 地方支部、職場支部への支援・依頼
   ・支部総会へは会長、幹事を含め、必要に応じて派遣する
   ・地区代表者会議、職場支部長会議への支援
   ・現役学生の就職活動の支援、母校受験者への大学紹介支援を支部に依頼する
7. 在校生への奨学金の給付
   　在校生へ総額1,000万円規模の奨学金を給付する。
8. ホームカミングデーへの積極的参加
   ・人的支援と交流の拡充を計る
9. キャンパス毎の学園祭に参加
   ・学園祭への支援をする
   ・校友会のOB、OG向けの「休憩所」を設置する
10. ホームページの拡充と更新
   ・校友会からのお知らせの更新、管理
   ・新規会員への窓口対応
11. その他
   ・母校並びに校友会PRに貢献した人への奨励金の贈呈
   ・功労者表彰および団体支援
   ・「大学と保護者との連絡会」への支部会員の参加支援
   ・学位授与式の「校友会賞」の授与および新会員への歓迎行事
   ・事務室のパソコン（Windows XP）を置換え。

（4）平成25年度 収支予算

（単位：円）

科目	予算
1．会費	**59,644,000**
▪ H24年度卒業生	4,664,000
▪ H25年度卒業予定者	54,980,000
2．諸会会費	**0**
▪ 賀詞交歓会	0
▪ その他	0
3．会誌広告	**0**
4．その他収入	**0**
▪ 賀詞交歓会祝金等	0
▪ その他	0
収入計	**59,644,000**
6．主事業費	**21,766,804**
▪ 総会（懇親会）費	883,044
▪ 会議費	1,000,000
▪ 会誌発行費	0
▪ 学科同窓会支援費	4,200,000
▪ 支部関連費	2,320,000
▪ 支部総会出張費	3,363,760
在学生奨学金費	10,000,000
▪ 研究助成費	0
▪ 部活動表彰（奨励金費）	0
7．卒業関連事業費	**2,050,000**
▪ 学位記ホルダー	1,150,000
▪ 校友会賞	400,000
▪ ガーデンパーティ費	500,000
8．その他事業費	**4,460,000**
▪ 学生支援費	1,000,000
▪ ホームカミングデー費	1,000,000
▪ ホームページ拡充・更新費	500,000
▪ 賀詞交歓会費	500,000
▪ 学園祭協賛費	60,000
▪ 表彰者記念品費	100,000
▪ 大学と保護者との連絡会費	900,000
▪ 親睦会行事費	400,000
9．管理費	**17,700,000**
▪ 人件費	12,000,000
▪ 通信交通費	**1,600,000**
（通信費）	1,500,000
（交通費）	100,000
▪ 渉外費	500,000
▪ 備品費	100,000
▪ 事務用品費	2,500,000
▪ 印刷費	500,000
▪ 賃借料	500,000
10．雑費	**500,000**
11．会費等返却金	0
12．予備費	**5,000,000**
支出計	**51,476,804**
収入－支出	**8,167,196**
次年度繰越金	**8,167,196**

コラム「緑道と生垣」

世田谷キャンパス新1号館完成に伴い、A地区西側に貫通通路と緑地帯が整備されました。区民の方が自由に利用することが出来る緑道です。またキャンパスの西側と北側の塀が撤去され、生垣になりました。開放的で緑豊かなキャンパスとなりました。

第１回 親睦ゴルフ大会

平成25年10月31日（木）千葉県の源氏山ゴルフクラブにおいて、平成25年度校友会第1回親睦ゴルフ大会が開催されました。五島育英会の安達理事長と東京都市大学代表の神宮事務局長をご招待し、総勢56名が集まりました。

多くの皆さんがご自分の好スコアーにも満足されて、そうでない方も含め、終日、和やかで楽しいゴルフを満喫されたものと思っています。

また、育英会、大学そしてOBの方々の相互の懇親が大いに深まったものと期待され、プレイ後には成績発表を兼ねた懇親会も行われましたが、その場では改めて自己紹介する姿が多く見られるなど、今後の校友会活動の活性化の一助となり、さらに大学の発展にも少なからず寄与できるものと考えております。

今年も10月に開催を予定致しますので女性の方々にも是非とも参加して頂き、今までとは一味違った大会にしたいと考えています。皆様方のご協力をよろしくお願い致します。

◆個人賞／優勝：森下 修至（S50経営）
２位：木藤 宅弥（H07土木）
３位：小泉 正博（S50機械）
ベスグロ賞：〈70歳以上〉米田 章（S40土木）
〈70歳未満～ 65歳以上〉小林 幹雄（S45土木）
〈65歳未満〉小泉 正博（S50機械）
◆団体賞／優勝：森下 修至（S50経営）、吉原 皓一郎（S46建築）
千葉 博司（S40通信）、松浦 弦三郎（S51土木）
２位：小泉 正博（S50機械）、西本 昌宏（S57経営）
形山 嘉宏（S40土木）、新堂 孝（育英会）
３位：安達　功（育英会）、木藤 宅弥（H07土木）
副島 信治（S32通信）、松下 正勝（S40土木）
◆育英会理事長賞：千葉 博司（S40通信）

第５回 ホームカミングデー

平成25年11月24日（日）に大学との共催により、卒業後50年、40年、30年、その他の卒業生がそれぞれ94、33、21、58名で総数206名、現職48名、退職教職員25名、在学生12名、他296名が参加して世田谷キャンパスで開催されました。

当日のプログラムを以下に示します。

12:15 ～ 13:05：見学会
（図書館、機器分析室、医用工学科、建築学科）
13:30 ～ 14:00：歓迎式典（21C教室）
14:00 ～ 15:00：講演会
「母校の歴史と現状」実行委員長
「日本百年の計と大学」学長 北澤宏一
15:30 ～ 17:30：懇親会（3号館 メモリアルホール）

卒業生と歓談する北澤宏一学長

メールアドレス登録のお願い

ホームページ（http://www.tcu-alumni.jp/）からメールアドレスの登録ができます。
メールアドレスを登録していただくと、行事や校友会報発行などのご案内をE-mail でお届します。
更に、会報の送付不要の登録をしていただくと、会報はお送りせずに、その費用を他の用途に充当させていただけます。
会報は校友会のホームページから閲覧、ダウンロードできます。

第２回 総会・懇親会

平成26年度　定期総会・懇親会を次のように開催いたします。
お一人でも多くの皆様のご出席をお願いいたします。

日時・場所：平成26年6月21日（土）東京都市大学世田谷キャンパス（世田谷区玉堤1-28-1）
受　付：14時30分～
総　会：15時～ 17時　2号館1階　21C教室
懇親会：17時～ 19時　14号館1階　学生食堂

議　　題：１．平成25年度　事業報告
２．平成25年度　収支決算報告および監査報告
３．監査役の交代
４．平成26年度　事業計画
５．平成26年度　収支予算
６．会則・細則の改正
７．その他

報告事項：１．武蔵工業会・美砂会からの資産移行について
２．次期会長について
３．その他

会　　費：5,000円
ご出席される方は、同封の払込用紙に住所・氏名・卒業年・卒業学科をご記入のうえ郵便局にて事前振込をお願いいたします。
手数料は無料です。なお、キャンセルの場合は定期総会協賛費として取り扱わせていただきますこと、ご了承ください。
6月11日（水）までにお振込をお願いいたします。

地方・職場支部総会

各地方・職場支部の行事（総会他）が随時開催されています。校友会ホームページをご覧ください。
詳細などは校友会本部・事務室にお問い合わせください。

会報の名称募集

募集期間：平成26年5月20日（火）～平成26年8月20日（水）（必着）
募集内容：「東京都市大学 校友会が発行する同窓会会報」の名称
応募資格：東京都市大学 校友会　会員
応募条件：１人3点までの応募とします。
第三者の著作権や商標権等を侵害していないこと。
発　　表：（時期）平成26年10月下旬（予定）
（発表方法）東京都市大学 校友会のホームページにて
選定方法：公募により寄せられた名称の中から、広報委員会で審査を行い、常任幹事会にて決定します。
賞　　品：最優秀賞（1名）及び優秀賞（2名）の方（該当者多数の場合は抽選による）に記念品を差し上げます。
応募方法：応募の際は、下記必要項目を記入の上、ホームページまたは郵送によりご応募下さい。
（1）同窓会会報の名称　（2）その名称をつけた理由　（3）氏名
（4）卒業年または学年、学科　（5）郵便番号、住所　（6）電話番号

大学からのお知らせ

大学の広報誌

「東京都市大学　大学ガイド」：東京都市大学のすべてがわかるガイドブック。

「TCU Quarterly」：大学の最新ニュースや動きをタイムリーに掲載する季刊広報誌。

いずれも大学のホームページ（ホーム＞入学案内＞資料請求･願書請求＞大学ガイド請求）で閲覧できます。

証明書の発行

各種証明書のお申し込みは、卒業・修了されたキャンパスの窓口（学生支援センター）または郵送での受付となります。当日30分で交付できる場合から1週間を要する場合もあります。入学試験などの学内行事や夏期･冬期休業により事務取り扱いを休止する日もありますので、ご注意ください。詳しくは大学のホームページ（ホーム ＞ 卒業生の方へ ＞ 各種証明書発行）をご覧ください。

図書館の利用

館内資料の閲覧､複写､貸出ができます。卒業したキャンパスの図書館カウンターで利用手続きをしてください。現住所が確認できるもの（免許証など）を持参の上、9時00分から閉館30分前までに手続をしてください。

館内資料の閲覧はすべて可能です。（電子資料は除く。世田谷キャンパス図書館の貴重図書室内にある資料の閲覧は事前に予約が必要。）

著作権法の範囲内で資料の複写が可能です。

図書館資料の貸出

入館手続きとは別に『貸出カード』（当該年度内有効）の発行手続きをすると、冊数：6冊、期間：15日間、期間延長：1回（15日間）の貸出ができます。返却は図書館カウンターへ持参、返却ポストへ投函、郵便･宅配（東京都市大学図書館宛で「返却図書」と記入してください）の何れかによります。

詳しくは大学のホームページ（ホーム ＞ 施設・研究所 ＞ 全学共通施設・研究所 ＞ 図書館＞ 東京都市大学図書館HOME＞ 訪問者別ナビゲーション＞ 卒業生の方へ）をご覧ください。

教室・食堂・テニスコート・グラウンドの使用

研究室OB会、クラブOB会等で教室、食堂の使用を希望される場合には、ご面倒でも、学科･研究室の教職員、クラブ顧問等を通じてお申し込みください。また、クラス会、同期会等で教室・食堂の使用を希望される場合は、校友会事務室へご相談ください。

技術指導・技術相談、共同研究、受託研究

商品開発、製品改良などの問題解決をサポートします。（簡易受託研究対応）

産業界及び大学等と共同して特定課題を研究する「共同研究」、委託試験・調査・分析・技術相談ならびに技術指導等を行う「簡易受託研究」、受託研究契約に基づいて様々な研究を行う「一般受託研究」を実施しています。

詳しくは、社会連携センターにお問い合わせください。

平成26年度（2014年度）　東京都市大学・校友会カレンダー

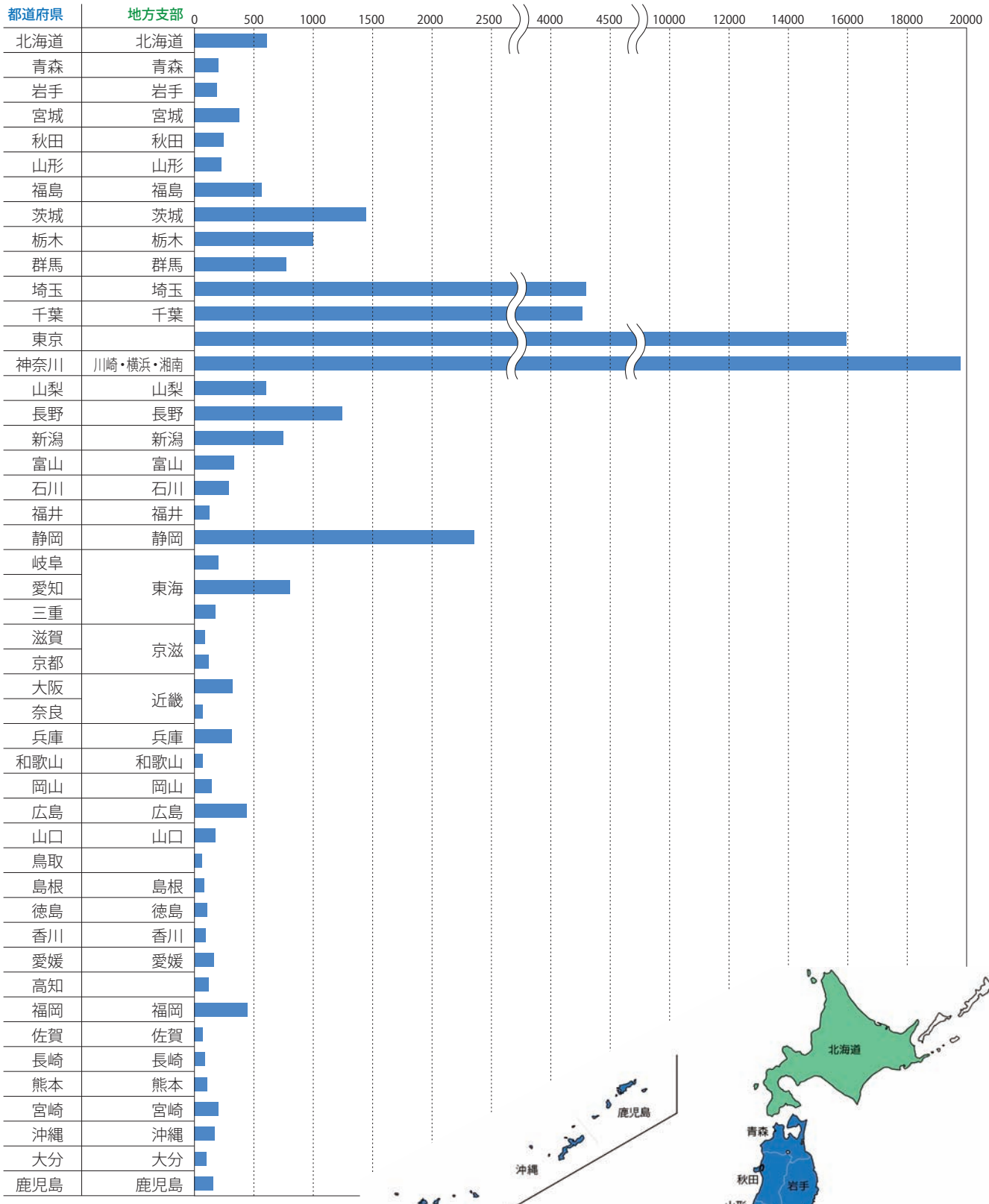
4月2日（火）	入学式
5月20日（金）～ 8月20日（水）	校友会会報の名称募集
6月 7日（土）～ 8日（日）	横浜祭
6月21日（土）	校友会総会・懇親会
7月19日（土）～ 20日（日）	オープンキャンパス
8月 8日（金）	科学体験教室
9月中旬～ 10月上旬	大学と保護者との連絡会
11月 1日（土）～ 2日（日）	世田谷祭/等々力祭
3月19日（木）	学位授与式

詳細はホームページをご覧ください。

地区別・支部別　会員数

地区名	都道府県または市	支部名	会員数			合計
			武蔵工業大学	東横学園女子短期大学	東京都市大学	
北海道・東北地区	北海道	北海道支部	492	114	6	612
	青森県	青森支部	93	103	4	200
	岩手県	岩手支部	88	98	0	186
	宮城県	宮城支部	302	70	7	379
	秋田県	秋田支部	132	108	6	246
	山形県	山形支部	107	116	6	229
	福島県	福島支部	356	195	17	568
計			1,570	804	46	2,420
関東・甲信越地区	茨城県	茨城支部	1,003	392	50	1,445
	栃木県	栃木支部	705	262	31	998
	群馬県	群馬支部	495	258	22	775
	埼玉県	埼玉支部	2,922	1271	102	4,295
	千葉県	千葉支部	2,603	1589	70	4,262
	東京都	なし	10,316	5,253	382	15,951
	神奈川県横浜市	横浜支部	5,674	6,308	315	19,727
	神奈川県川崎市	川崎支部	2,059		122	
	神奈川県 (川崎市・横浜市を除く)	湘南支部	4,945		304	
	山梨県	山梨支部	489	101	16	606
	長野県	長野支部	845	370	27	1,242
	新潟県	新潟支部	473	262	13	748
計			32,529	16,066	1,454	50,049
中部地区	富山県	富山支部	272	53	7	332
	石川県	石川支部	258	28	3	289
	福井県	福井支部	93	27	6	126
	岐阜県	東海支部	174	25	4	203
	愛知県		730	66	8	804
	三重県		156	19	2	177
	東海支部　計		1,060	110	14	1,184
	静岡県	静岡支部	1,899	361	93	2,353
			3,582	579	123	4,284
関西地区	滋賀県	京滋支部	79	10	1	90
	京都府		97	22	0	119
	京滋支部　計		176	32	1	209
	大阪府	近畿支部	263	57	1	321
	奈良県		52	14	1	67
	近畿支部　計		315	71	2	388
	兵庫県	兵庫支部	262	47	2	311
	和歌山県	和歌山支部	53	17	1	71
計			806	167	6	979
中国・四国地区	岡山県	岡山支部	122	17	4	143
	広島県	広島支部	396	37	6	439
	山口県	山口支部	149	26	4	179
	鳥取県	鳥取支部(準備中)	52	12	1	65
	島根県	島根支部	61	23	0	84
	徳島県	徳島支部	88	22	0	110
	香川県	香川支部	82	12	2	96
	愛媛県	愛媛支部	116	43	3	162
	高知県	支部なし	84	33	1	118
計			1,150	225	21	1,396
九州・沖縄地区	福岡県	福岡支部	385	51	10	446
	佐賀県	佐賀支部	59	10	2	71
	長崎県	長崎支部	76	10	1	87
	熊本県	熊本支部	83	25	1	109
	宮崎県	宮崎支部	91	112	1	204
	沖縄県	沖縄支部	64	106	2	172
	大分県	大分支部	75	23	0	98
	鹿児島県	鹿児島支部	79	81	0	160
計			912	418	17	1,347
合計			40,549	18,259	1,667	60,475

2014/3/1現在


都道府県
地方支部
0
500
1000
1500
2000
2500
4000
4500
10000
12000
14000
16000
18000
20000
北海道 北海道
青森 青森
岩手 岩手
宮城 宮城
秋田 秋田
山形 山形
福島 福島
茨城 茨城
栃木 栃木
群馬 群馬
埼玉 埼玉
千葉 千葉
東京
神奈川 川崎・横浜・湘南
山梨 山梨
長野 長野
新潟 新潟
富山 富山
石川 石川
福井 福井
静岡 静岡
岐阜 東海
愛知 東海
三重 東海
滋賀 京滋
京都 京滋
大阪 近畿
奈良 近畿
兵庫 兵庫
和歌山 和歌山
岡山 岡山
広島 広島
山口 山口
鳥取
島根 島根
徳島 徳島
香川 香川
愛媛 愛媛
高知
福岡 福岡
佐賀 佐賀
長崎 長崎
熊本 熊本
宮崎 宮崎
沖縄 沖縄
大分 大分
鹿児島 鹿児島
北海道
青森
秋田
岩手
山形
宮城
福島
茨城
栃木
群馬
埼玉
東京
千葉
神奈川
新潟
富山
石川
福井
長野
山梨
静岡
愛知
岐阜
三重
滋賀
京都
大阪
兵庫
奈良
和歌山
鳥取
島根
岡山
広島
山口
徳島
香川
愛媛
高知
福岡
佐賀
長崎
熊本
大分
宮崎
鹿児島
沖縄
都道府県別 会員数
quote
0以上100未満
100以上300未満
300以上500未満
500以上1000未満
1000以上3000未満
3000以上5000未満
5000以上20000未満

地方支部と都道府県別会員数

12ページの棒グラフは“都道府県別住所判明正会員数”、11ページは対応する“地方支部”です。“地方支部”は概ね“都道府県”ごとに設置されていますが、例外があります。岐阜、愛知と三重県で東海支部、滋賀県と京都府で京滋支部、大阪府と奈良県で近畿支部となり、神奈川県は川崎支部（川崎市）、横浜支部（横浜市）と湘南支部（その他の地域）からなっています。東京都、鳥取、高知県には地方支部はありません。

“都道府県別住所判明正会員数”を日本地図に色で表してみました。会員が最も多いのは神奈川県で住所判明全正会員のほぼ1/3、次は東京都で1/4であり、神奈川県と東京都で全会員のほぼ60 %になり、埼玉県と千葉県とを合わせた1都3県で全会員の73 %、ほぼ3/4になります。最も少ないのは鳥取県の65名です。

“住所判明正会員”の人口に対する比を求めると、最も大きい都道府県も神奈川県で、0.22 %（県民の450人に1人が東京都市大学 校友会の正会員）です。次いで東京都0.12 %、山梨、千葉県各0.07 %、静岡、埼玉、長野県各0.06 %、栃木、茨城県各0.05 %、群馬県0.04 %と続きます。人口に対する比が小さいのは順に、大阪府0.004 %、京都府、奈良県各0.005 %、兵庫、熊本、長崎、滋賀県各0.006 %です。全国平均では0.047 %であり、国民のほぼ2000人に1人が東京都市大学 校友会の正会員となります。

職場支部

次の26の職場支部があります。

学内	山武武蔵会	協和エクシオ柏会	京三柏会
横浜市役所	飛島柏会	清水建設柏会	日本電産サンキョー柏会
不二サッシ柏会	竹中土木	東熱柏会	竹中武蔵会
横浜ゴム柏会	トヨタ自動車東日本	ハザマ柏会	セイコーエプソン尾山台倶楽部
東急柏会	千代田化工建設	富士電機柏会	五洋柏会
川崎市役所	鹿島柏会	地崎柏会	
大成柏会	富士通柏会	こうえい柏会	

※職場支部への連絡先は校友会事務室までお問い合わせください。

海外支部

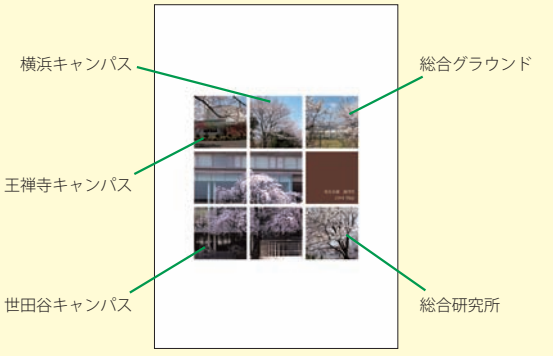
台湾、韓国の2つの海外支部があります。

表紙解説

解説・撮影　勝又　英明（S55建築）

校友会報第1号が発行される頃には少々季節外れとなってしまうかもしれません。東京都市大学の4キャンパスと総合研究所、総合グラウンドの代表的な桜を1箇所（1本）ずつお届けします。新年度の初日の平成26年4月1日に撮影しました。この日は幸運なことにほぼ満開でした。この日にこだわったのは、校友会報創刊号の発行を記念し、新年度の都市大すべてのキャンパスをご紹介したいためです。

世田谷キャンパスの桜は、サクラセンター入口の桜並木です。又裏表紙の桜はサクラセンターの由来ともなっている素晴らしいしだれ桜です。横浜キャンパスの桜は本館(1号館)前にある桜です。この桜は昭和32年に五島慶太翁により東横学園二子幼稚園に植えられたもので、平成18年に横浜キャンパスに移植された由緒あるものです。等々力キャンパスの桜は3号館・図書館北側にあるもので、このキャンパスのシンボルとも言えるような見事な桜です。王禅寺キャンパス（原子力研究所）は、森の中にあるキャンパスで、のびのび育った桜が多くあります。写真の桜は前庭にあるものです。総合研究所（旧東横短大文科校舎裏）は北側の庭に1本枝ぶりの良い桜が咲いています。総合グラウンドは、平成22年に開設された野球場、多目的グラウンド、テニスコートからなります。野球場のピッチャー練習場付近に5本の桜があります。撮影の日には付属高校野球部が練習をしていました。



編集後記 Editor's note

和多田雅哉（S59電気）

我々の母校は、「武蔵工業大学」「東横学園女子短期大学」から「東京都市大学」へ、都市大グループのトップとして、建学の精神「公正」「自由」「自治」を継承しながら新たなステップへと、更なる進化を遂げております。学園歌『夢に翼を』で歌われているように、一人ひとりの学生が、自身の夢に翼を与え、実社会へ飛び立つ力を、鍛え、育んでおります。

校友会は、平成25年4月、東京都市大学同窓会として発足しました。本創刊号では、校友会組織の概要（会則、組織図を含む）や昨年の活動状況、今後の活動・イベント等の情報を発信するとともに、校友会会員構成（H26.4.15現在）、地区別・支部別会員数（H26.3.1）を表および棒グラフ、色別の日本地図で記載しました。現在の校友会会員の構成状況がお分かりになるかと思います。また、同窓会会報は、継続して、母校や同窓会の情報発信源としての役割を担うことになりましたので、より親しみやすい「同窓会会報」を目指し、会報名称を広く会員の皆様方から募集することになりました。多くの方々からの「名称」応募をお待ちしております。

『夢に翼を』与える大学を目指している母校が、さらに大きく発展していくことを願い、今後ともOB、OGの皆様方と母校とを結び、母校発展のための情報発信を模索していきたいと考えております。今後とも、引き続き、ご意見・ご感想、あるいはご提案などございましたら、校友会事務室までご連絡頂ければ幸いです。

校友会会報編集委員をおおせつかりながら、なかなか編集委員会にも出席できず、片身の狭い思いをしておりましたが、創刊号編集長の大役を引き受け、光栄に思う反面、大きな責任を背負うことになり複雑な思いで一杯です。編集長とは名ばかりで、企画の内容、掲載記事・写真など、編集全般にわたって、今井会報編集部会委員長、事務室の渡辺さんをはじめ、ベテラン編集委員の方々にご尽力いただいて発刊にこぎつけた次第です。

最後になりますが、本創刊号にご執筆頂いた方々をはじめ、編集にご尽力頂いた編集委員の皆様に、改めて御礼申し上げます。

CONTENTS

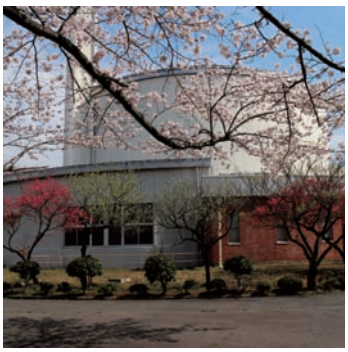
2014 May　創刊号

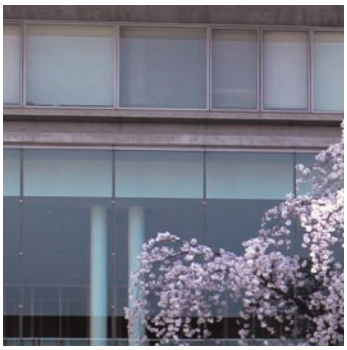
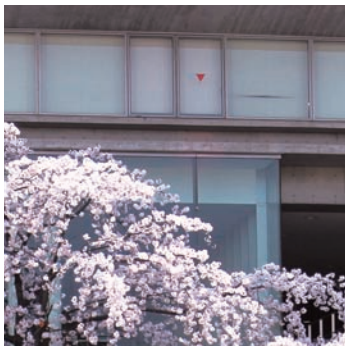
1-2　**巻頭言**
1　東京都市大学 校友会　会長　松下　正勝
2　東京都市大学　学長　北澤　宏一
3　**東京都市大学 校友会について**
4-8　**ご報告**
4　発足式
4　第１回総会
4　（1）校友会役員
5　（2）校友会会則
6　校友会組織図
7　（3）平成25年度　事業計画
7　（4）平成25年度　収支予算
8　第１回　親睦ゴルフ大会／第５回　ホームカミングデー
8　メールアドレス登録のお願い
9-13　**ご案内**
9　第２回　総会・懇親会／地方・職場支部総会
9　会報名称の募集
10　大学からのお知らせ
10　平成26年度　東京都市大学・校友会カレンダー
11　地区・地方支部と会員数
12　都道府県別会員数
13　職場支部
13　**表紙解説**
14　**編集後記**

会報編集部会
委 員 長：今井　章久（S44通信）
副委員長：勝又　英明（S55建築）
編 集 長：和多田雅哉（S59電気）
委　　員：早田　典子（S47家政）
委　　員：加藤　祐子（S53国文）
委　　員：衣斐喜美子（S55家政）
委　　員：三原　雄司（H01機械）
委　　員：薩川　宣昭（H10経営）

東京都市大学 校友会　会報
創刊号
発行人　松下正勝
発行所　東京都市大学 校友会
〒158-8557
東京都世田谷区玉堤1-28-1
東京都市大学内
Tel.03-3703-3862
Fax.03-3703-4595
2014年5月20日発行

※氏名の後に付した括弧内は卒業年（S：昭和　H：平成）、卒業学科を表しています。



校友会報　創刊号

2014 May